

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名 (ふりがな)	内田 勝也 (うちだ かつや)	所属	情報セキュリティ大学院大学 名誉教授									
研究集会等名称	情報セキュリティ心理学研究会											
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">会員 4名 (うち認定心理士 1名)</td> <td style="width: 33%;">会員 1名</td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td>非会員 19名 (うち認定心理士 名)</td> <td>非会員 5名 (新規 2名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">合計 23名 (うち認定心理士 1名)</td> <td style="border-top: 1px solid black;">合計 6名</td> <td></td> </tr> </table> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 開催関連 日時：2月21日(火) 18:00～20:00 場所：中央大学研究開発機構 (後樂園キャンパス) 発表：(1)「標的型メール対策訓練の考察」山口健太郎 (横浜市立病院) (2)「ソーシャルエンジニアリングの考察」内田勝也 (情セ大学院名誉教授) • 集会の目的 情報セキュリティ分野において、人間的 (人間の心理面) な課題を明らかにし、情報通信技術 (ICT) 分野や心理学分野の研究者の関心を高め、多くの研究者が情報セキュリティ心理学的な研究に関心を抱くことを目指す。 • 成果 中央大学研究開発機構・情報通信技術研究会と合同で実施し、23名の出席があった。本研究会での呼びかけで14名が出席し、予想以上の人数の参加があった。また、中大側からの出席者も多数 (記名者数：9名、無記名者：10名) あり、その内、6名が今後、研究会開催に興味をしめしている。 • その他 なお、上記研究会終了後、ソーシャルエンジニアリングの説明を更に聞きたいとの希望があり、3月24日(土) 14:00～16:00に勉強会を開催した。 6名の参加希望があったが、1名はインフルエンザで欠席。2月出席者以外に2名の新規参加者があり、活発な意見交換を行うことができた。 次年度以降の継続を考えており、76回大会やその他の機会を捉えて、更に輪を広げたい。 			会員 4名 (うち認定心理士 1名)	会員 1名		非会員 19名 (うち認定心理士 名)	非会員 5名 (新規 2名)		合計 23名 (うち認定心理士 1名)	合計 6名	
会員 4名 (うち認定心理士 1名)	会員 1名											
非会員 19名 (うち認定心理士 名)	非会員 5名 (新規 2名)											
合計 23名 (うち認定心理士 1名)	合計 6名											